



2024年11月11日

各位

上場会社名	株式会社 ニッチツ
代表者	代表取締役社長 松原 祐生 (コード: 7021 東証スタンダード市場)
問合せ先責任者	代表取締役専務取締役 管理本部長 兼経営管理部長 艸薙 望 (TEL. 03-5561-6200)

(訂正・数値データ訂正)「2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の一部訂正について

当社が2024年8月9日に公表いたしました「2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、記載内容の一部訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありますので、訂正後の数値データも送信します。

記

1. 訂正の理由

2025年3月期 第2四半期(中間期)決算数値の確認を進める中で、一部の売上について売上計上時期を見直すこととなり、対象の一部が第1四半期にも存在するため、8月9日に公表いたしました「2025年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の関連項目の訂正を行うものであります。

2. 訂正の内容

訂正箇所が多岐にわたるため、訂正後の全文を添付し、訂正箇所には下線を付しております。

以上



2025年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年8月9日

上場会社名 株式会社 ニッチツ

上場取引所 東

コード番号 7021 URL <http://www.nitchitsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松原 祐生

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務取締役 管理本部長兼 経営管理部長 (氏名) 艸薙 望 TEL 03-5561-6200

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年3月期第1四半期の連結業績(2024年4月1日～2024年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第1四半期	2,526	24.7	100	24.9	108	24.9	103	
2024年3月期第1四半期	2,025	2.0	80	91.2	86	20.1	2	

(注) 包括利益 2025年3月期第1四半期 258百万円 (268.9%) 2024年3月期第1四半期 70百万円 (34.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第1四半期	52.25	
2024年3月期第1四半期	1.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年3月期第1四半期	15,702	10,965	69.8	5,549.53
2024年3月期	15,356	10,732	69.9	5,441.73

(参考) 自己資本 2025年3月期第1四半期 10,965百万円 2024年3月期 10,732百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期		15.00		15.00	30.00
2025年3月期					
2025年3月期(予想)		15.00		15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日～2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,100	9.8	290	11.0	210	15.6	250	1.0	126.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年3月期1Q	2,130,000 株	2024年3月期	2,130,000 株
期末自己株式数	2025年3月期1Q	154,002 株	2024年3月期	157,802 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年3月期1Q	1,975,048 株	2024年3月期1Q	2,083,922 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、業績予想の前提条件その他の事項につきましては、添付資料の2ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(会計方針の変更に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国を中心に堅調に推移する一方で、中国経済には引き続き力強さが見られない状況にあります。日本経済は企業収益の改善および高水準の賃上げに伴う設備投資・個人消費の持ち直しが期待されます。

当社グループを取り巻く事業環境については、機械関連事業の船用機器部門では国内造船所の受注および手持工事が引き続き高水準で推移しており、堅調な需要が継続しています。産業機器部門では水力発電、製鉄関連等の需要が継続しています。資源関連事業については、産業機器および自動車向け半導体需要が軟調に推移しており封止材等の需要回復が遅れております。オフィス賃貸については、都内における平均空室率は低下基調にあり、賃料は上昇基調にあります。

このような環境の下、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,526百万円（前年同期比24.7%増）、営業利益は100百万円（同24.9%増）、経常利益は108百万円（同24.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は103百万円（前年同期は2百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

事業分野別の概況は次のとおりであります。

① 機械関連事業

船用機器部門は船殻ブロック、ハッチカバーいずれも順調に推移しました。産業機器部門では水力・地熱発電関連で売上を計上しました。

この結果、機械関連事業全体では、売上高は1,739百万円（前年同期比28.9%増）、営業利益は119百万円（同96.4%増）となりました。

② 資源関連事業

ハイシリカ（精製珪石粉等）部門は、低調な半導体封止材関連を光学関連における半導体関連向けガラスの需要によりカバーするも、原料費の上昇により採算が悪化しました。

この結果、資源関連事業全体では、売上高は521百万円（前年同期比6.6%増）、営業損失は42百万円（前年同期は15百万円の営業利益）となりました。

③ 不動産関連事業

賃貸ビルの稼働状況が順調に推移したことにより、売上高が35百万円（前年同期比0.6%増）、営業利益は12百万円（同2.2%減）となりました。

④ 素材関連事業

耐熱塗料部門は、工業用の好調に加え、輸出にも回復が見られました。ライナテックス（高純度天然ゴム）関連部門は、大型機械製作案件があり、大幅増収となりました。

この結果、素材関連事業全体では、売上高は231百万円（前年同期比52.2%増）、営業利益は9百万円（前年同期は9百万円の営業損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

（資産、負債、純資産の状況）

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、15,702百万円と、前連結会計年度末比345百万円増加しました。これは、主として、有形固定資産及び投資有価証券の増加により固定資産合計で446百万円増加したことによるものであります。

負債合計は4,736百万円となり、前連結会計年度末比111百万円増加しました。これは、主として、その他有価証券評価差額金の増加に伴う繰延税金負債の増加や支払債務及び賞与引当金の増加等によるものであります。

純資産合計は10,965百万円となり、前連結会計年度末比233百万円増加いたしました。これは、主としてその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は69.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の連結業績予想につきましては、2024年5月13日に公表しました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,712,696	2,576,583
受取手形、売掛金及び契約資産	1,950,624	2,194,015
電子記録債権	749,202	684,578
商品及び製品	230,642	281,931
仕掛品	1,086,140	1,036,205
原材料及び貯蔵品	457,068	483,066
その他	538,215	367,485
貸倒引当金	△305	△318
流動資産合計	7,724,284	7,623,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,528,699	1,513,989
機械装置及び運搬具（純額）	1,198,055	1,232,904
土地	2,302,680	2,302,680
その他（純額）	310,706	518,966
有形固定資産合計	5,340,142	5,568,541
無形固定資産	76,356	69,537
投資その他の資産		
投資有価証券	2,127,953	2,351,709
その他	89,636	90,666
貸倒引当金	△1,582	△1,682
投資その他の資産合計	2,216,008	2,440,694
固定資産合計	7,632,506	8,078,772
資産合計	15,356,791	15,702,319

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	644,881	711,645
短期借入金	1,126,800	1,126,800
未払法人税等	19,417	33,688
賞与引当金	81,963	143,167
受注損失引当金	59,121	33,790
環境安全対策引当金	1,475	3,026
その他	1,038,574	993,955
流動負債合計	2,972,232	3,046,072
固定負債		
長期借入金	92,200	78,000
繰延税金負債	724,761	762,161
役員退職慰労引当金	13,440	14,010
役員株式給付引当金	39,899	44,985
環境安全対策引当金	4,372	1,713
退職給付に係る負債	622,140	634,024
資産除去債務	44,407	44,438
その他	111,161	111,051
固定負債合計	1,652,382	1,690,384
負債合計	4,624,615	4,736,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,100,000	1,100,000
資本剰余金	811,257	811,257
利益剰余金	8,275,515	8,346,778
自己株式	△276,712	△270,048
株主資本合計	9,910,060	9,987,987
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	835,486	989,479
退職給付に係る調整累計額	△13,370	△11,604
その他の包括利益累計額合計	822,115	977,875
純資産合計	10,732,175	10,965,863
負債純資産合計	15,356,791	15,702,319

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,025,792	2,526,936
売上原価	1,729,419	2,200,898
売上総利益	296,373	326,038
販売費及び一般管理費	216,038	225,702
営業利益	80,334	100,336
営業外収益		
受取利息	81	108
受取配当金	25,621	30,193
その他	21,289	17,948
営業外収益合計	46,993	48,250
営業外費用		
支払利息	2,202	2,553
休廃止鉱山管理費	34,204	33,757
その他	4,162	3,905
営業外費用合計	40,569	40,216
経常利益	86,758	108,369
特別利益		
固定資産売却益	26,727	29
特別利益合計	26,727	29
特別損失		
固定資産処分損	130,307	6,551
特別損失合計	130,307	6,551
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△16,821	101,848
法人税、住民税及び事業税	2,729	33,100
法人税等調整額	△16,575	△34,458
法人税等合計	△13,845	△1,357
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△2,975	103,205
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,975	103,205

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△2,975	103,205
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	69,412	153,992
繰延ヘッジ損益	2,016	—
退職給付に係る調整額	1,743	1,766
その他の包括利益合計	73,172	155,759
四半期包括利益	70,196	258,965
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	70,196	258,965
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（会計方針の変更に関する注記）

（「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用）

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20－3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。）第65－2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は、遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,349,582	489,243	34,841	152,123	2,025,792	-	2,025,792
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,884	-	-	-	3,884	△3,884	-
計	1,353,467	489,243	34,841	152,123	2,029,676	△3,884	2,025,792
セグメント利益又は損 失(△)	60,730	15,340	12,868	△9,819	79,120	1,214	80,334

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去2,399千円、全社費用△1,185千円
あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2024年4月1日至2024年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	機械関連 事業	資源関連 事業	不動産関連 事業	素材関連 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,739,081	521,320	35,040	231,494	2,526,936	-	2,526,936
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,853	-	-	1,854	5,707	△5,707	-
計	1,742,935	521,320	35,040	233,348	2,532,644	△5,707	2,526,936
セグメント利益又は損 失(△)	119,260	△42,622	12,584	9,738	98,960	1,375	100,336

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去2,400千円、全社費用△1,024千円
あります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)
減価償却費	106,108千円	114,588千円